

事態のアスペクチュアルな意味と「テイル」

森山 卓郎（早稲田大学）¹

1. はじめに

1.1 日本語アスペクトの形式のパラダイム

複合動詞＋クル／イク＋ている			＋T＋形式名詞＋		T
かける	てくる	ている	た	ところだ	た
はじめる	ていく	てある	φ	ばかりだ	φ
続ける	φ	つつある	最中だ		
終わる		ておく	ままだ		
(つくす)		φ	ことがある		
…φ…			…φ…		

1.2 「テイル」パラダイムと全体パラダイム

状態表現 imperfective の重要性

- (1) 田中さんが倒れています・倒れました

中立的状態化形式：「ている」形→事態の性質による多義性→これまではここが中心。

状態＋進行中特化：「つつある」

状態＋結果特化と意図性：「てある」

動きの後への着目と意図性：「ておく」

- (2) 「すばらしい女性でした」と、老人はいった。「いや。今もその女性特有の倫理が破綻に直面したこの世界を救いつつあるのですが」（『エディプスの恋人』）

- (3) 部屋に入った時、窓は開けてありました。

1.3 アスペクト形式の全体での位置づけ

- (4) 1 時間ほど {?乾かした／乾かしておいた}。ようやく {乾いてきた／乾いた}。

- (5) 歩き始める 歩き続ける 歩き終わる しばらく歩いた ずっと歩いていた
-
- 愛し始める 愛し続ける *愛し終わる *しばらく愛した ずっと愛していた

- (6) 違う：A と B は違っている cf. そう考えると結果は違ってくる

2. 動詞の「時間的意味」と動きの時間的構造

2.1 動詞分類主義の限界

- (7) 入る：お風呂に入る 部屋に入る 鬼籍に入る

Cf. お風呂に入りゆー 部屋に入っちゆー（高知市方言）

動詞の意味→動きの類型→アスペクト形式との関係

¹ moriyama@waseda.jp

2.2 動詞分類と副詞類

- (8) a. 彼はうどんを食べている。
b. 彼はうどんを4はいも食べている。
c. 彼は毎日うどんを4はいも食べている。
d. 彼は、学生時代、毎日うどんを4はいも食べている。

2.3 動きの時間的性質と動詞分類

瞬間動詞・継続動詞 変化動詞・動作動詞（＋対象変化動作動詞）

→動きの種類はもう少し複雑ではないか。

3. アスペクト的意味：動きの時間的構造

3.1 「主体変化動詞」の動きの特性

- (9) 座る : 座り続けた しばらく座った しばらく座っていた 座ったまま
壊れる : *壊れ続けた *しばらく壊れた しばらく壊れていた 壊れたまま
死ぬ : *死に続けた *しばらく死んだ *しばらく死んでいた #死んだまま

3.2 「対象変化動作動詞」の動きの特性

- (10) 窓を開ける : ~かかって 開け続ける しばらく開ける しばらく開けておく
棚にしまう : ~かかって #しまい続ける ?しばらくしまう しばらくしまっておく
割る : ~かかって #割り続ける *しばらく割る *しばらく割っておく

3.3 区間・「力」・変化

運動展開区間 変化の保存（維持区間・結果残存区間） 区間なし

変化時点と展開としての変化 : 広がっている 広がってきている 広がりつつある

3.4 動きの類型をどう整理するか：時定項分析

動詞句の表す「動き」を類型化して考えることが必要。

論理的可能性と実際に多い表現ということはある。

- (11) ab a(b) abc abcd abce acb c cd ce z

- ・一時点的なものは一つだけの文字で表す。区間はペアになる二つの字で表す。
- ・c : s 主体変化と o 対象変化がある。
- ・z : 一点的でしかも変化性を持たないもの
- ・区間が連続する場合、運動展開のあとに変化の保存区間が来ることがある（逆はない）。
- ・区間には、運動展開 ab、維持 cd、結果残存 ce、の三つの種類がある。
- ・「した瞬間」などスル形で動きを限定的に言う場合、変化時点のあるものはその変化時点が焦点化される。
- ・論理的な組み合わせはあり得るが、例として多いものとそうでないものがある。

- ab 変化部分のない運動展開「歩く、働く、騒ぐ」など。運動展開の力が読み取れる。
- asb 運動展開の中に変化がある進展的（漸次的）変化。進行中解釈も変化結果の読みもできる。「すくすくと 元気な子に 育っている・育っていく」。「?しばらく育っていた（る）」に変化結果残存の区間はない。
- aob 運動展開の中に変化がある進展的（漸次的）変化。進行中解釈も変化結果の読みもできる。「すくすくと 元気な子に 育てている・育てていく」など。「?しばらく育てている」に変化結果残存の区間はない。
- a(b) 運動展開のみで終結点なし 感情など：「○始める／*終わる」
- abo 運動展開と対象変化。対象変化のあとに区間はない。「殺す、焦がす」など「しばらく殺した」などと言えない。非可逆的。動きの後に変化が出現するので「しているがまだ～とはなっていない」などと言える。
- abs 運動展開と非可逆的主体変化が連動する動きはあまり考えにくい？
- absd 運動展開の後に維持を伴う主体変化「服を着る」など。「し続ける」に二つの意味。「～かかって」「～間」は別の区間。主体変化の区間は「しばらく服を着ていた」などで取り上げられる。
- abod 運動展開の後に対象変化。対象変化は維持的な区間がある。「窓を開け続ける」など。「し続ける」に二つの意味。「～かかって」「～間」は別の区間。対象変化の区間は「しばらく窓を開けた」も言える。
- abse 運動展開の後に主体変化。主体変化の後に結果残存的区間。「服を脱ぐ」など。「し続ける」は一つの意味。「～かかって」「～間」は別の区間。主体変化の区間はそのままでは言いにくい。可逆的なので「?しばらく服を脱いだ」「しばらく服を脱いでいた」は可。
- aboe 運動展開の後に対象変化。対象変化の後に結果残存的区間。「ボタンを留める」など。「し続ける」の意味は一つ。「～かかって」「～間」とは別の区間。対象変化の区間はそのままでは言いにくい。可逆的なので「?しばらくボタンを留めた」「しばらくボタンを留めていた」は可。
- sd 運動展開はない。主体変化のあとに維持的区間。姿勢など。維持に力が働き、その区間を形成しやすい。「座る、並ぶ」など。ただし、運動ではないので「し始める」は言いにくい「し続ける」「～間」は言える。
- se 運動展開はない。主体変化のあとに結果残存的区間。残存部分までは語義に入っていないので「?しばらく就任した」など少し言いにくい、可逆的変化なので「しばらく就任していた」などは言え、区間は形成できる。
- od 運動展開はない。主体変化のあとに結果維持的区間。維持に力が働き、その区間を形成しやすい。「貸す」など。ただし、運動ではないので「し始める」は言いにくい「し続ける」「～間」は言える。
- oe 運動展開はない。対象変化のあとに結果残存的区間。「無くす」など結果残存部分までは語義に入っていないので「?しばらく無くした」など少し言いにくい、可

逆的变化なので「しばらく無くしていた」などは言え、区間は形成できる。可逆的対象変化。

- s 一点的主体変化。「?しばらく死んでいた」のように非可逆で区間はできない。「死ぬ」など。テイル形で主体変化の結果。
- o 一点的対象変化。「設立する」など。「?しばらく設立していた」のように区間はできない。テイル形で経歴。主体変化ではないが運動展開がない点で無意識的に変化が成立する場合などもある。
- z 無変化の一点的動き。「一瞥する」など。区間はできない。シテイル形は変化結果を含意しない。

3.5 「語義」の範囲をどう見るか

スル形の用法も含めて総合的に考える必要がある。動きをどう想定するかによる違い。

隠す	隠し続ける	暫く隠す	暫く隠しておく	暫く片付けている
分離する	#分離し続ける	*暫く分離する	暫く分離しておく	暫く分離している
殺す	#殺し続ける	*暫く殺した	*暫く殺しておく	#暫く殺している
設立する	*設立し続ける	*暫く設立する	*暫く設立しておく	*暫く設立している
故障する	*故障し続ける	*暫く故障する	—	#暫く故障している
破滅する	*破滅し続ける	*暫く破滅する	—	*暫く破滅している

3.6 副詞の修飾部位

副詞も修飾部位の特定ができる。

b 副詞	ごはんを三杯（食べる）	変化ではないが量を規定	動きの終結部分。
ab 副詞	がらがらと（開ける）	運動展開のみ	
ab cd ce 副詞	ずっと（開ける）	運動展開以外の区間も	
c 副詞	こなごなに（壊している）		
z 副詞	一瞬	変化に言及せず時間的な幅のみなくす。	
	{がたりと・がたがたと}	開ける	
asb 副詞	だんだん伸びている	変化の進展	cf 伸びている
動きの集合副詞	次々と 毎日など	（集合により ab 化）	
	じっと見ている・じろじろと見ている		

4. おわりに

4.1 他のカテゴリーとのかかわり

- (12) 思う・思っている 見える・見えている／できる・できている
- (13) わかる・わからない 知る・知らない

4.2 対照研究・教育への応用・語用論的側面

我々が動きというもののありようを経験的にいかに整理してきているか。「語義の範囲」の検討の必要性もあるのではないか。動きの特性に関わる表現の多様性。

(14) 做饭做了一个小时・做了一个小时的饭

参考文献

森山卓郎 (1988) 『日本語動詞述語文の研究』 明治書院